

疫 学 部

第56回日本寄生虫学会大会，昭和62年4月，横浜，エキノコックス症の確認試験としてのウェスタン・ブロッティング法の確立：古屋宏二，佐藤秀男，新井純理，川瀬史郎，熊谷 満

第56回日本寄生虫学会大会，昭和62年4月，横浜，ヒト包虫症に関する抗原成分の解析：古屋 宏二，川瀬史郎，熊谷 満，川中正憲*，坂本 司** (*国立予研，**岩手大)

第56回日本寄生虫学会大会，昭和62年4月，横浜，オーストラリアの単包虫症 1.家畜における単包虫症の疫学的調査：坂本 司*，谷 重和**，G. W. Hutchinson***，R. C. A. Thompson****，熊谷 満，古屋宏二，佐藤秀男，坂本 浩*****(*岩手大，**秋田大，***James Cook 大，****Murdock 大，*****北大)

第56回日本寄生虫学会大会，昭和62年4月，横浜，多包条虫・多包虫の動物間流行における仔ギツネの役割：高橋健一，八木欣平，服部畦作，近藤憲久* (*根室市教委)

第103回日本獣医学会，昭和62年4月，藤沢，オーストラリアにおける家畜の単包虫症について：坂本 司*，G. W. Hutchinson**，R. C. A. Thompson***，熊谷 満，古屋宏二，佐藤秀男，坂本 浩*****(*岩手大，**James Cook 大，***Murdock 大，****北大)

第3回日本靈長類学会大会，昭和62年6月，箕面，ボリビア産ティティ (*Callicebus*) とホエザル (*Alouatta*) の核型について：峰沢 満*，八木欣平 (*京大靈長研)

微生物技術協議会第8回研究会，昭和62年6月，東京，食品及び環境のポツリヌス菌汚染：三田村 弘

11th Asia Pacific Academy of Ophthalmology, 1987 June. Kuala Lumpur, Molecular Epidemiology of Adenoviral Conjunctivitis in Sapporo, Japan and Manila, the Philippines: H. Sawada, K. Aoki*, R. Kawana**, D-F. Guo***, M. Shinagawa***, R. V. Fajardo**** (*Sapporo city, **Iwate Medical University, ***Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine, ****Philippine University Hospital)

第34回日本寄生虫学会，北日本支部大会，昭和62年9月，札幌，北海道において認められたエゾタヌキの多包条虫感染例について：八木欣平，高橋健一，服部畦作，関 直樹*，(*名寄保健所)

第34回日本寄生虫学会，北日本支部大会，昭和62年9月，札幌，最近のテラノーバ症に関する知見：石倉 肇*，小林芳男**，八木欣平，藤田 修***，中島 収****，宮本健司***** (*石倉医院，**小林整形，***北大獣医，****北大病院検査部，*****旭川医大)

第34回日本寄生虫学会、北日本支部大会、昭和62年9月、札幌、モルモット新生仔における *Echinococcus multilocularis* 感染実験：石下真通、木崎節子

第15回代謝異常スクリーニング研究会、昭和62年9月、大阪、北海道におけるクレチニン症精密検査例のマス・スクリーニング成績と診断結果について：大高真実、前田典子、木崎節子、市原 侃、原田正平*、藤枝憲二*、松浦信夫*、大柳和彦**、奥野晃正*** (*北大医学部小児科、**札幌医大小児科、***旭川医大小児科)

第15回代謝異常スクリーニング研究会、昭和62年9月、大阪、副腎皮質過形成症マス・スクリーニングへの17-OHP 測定試薬の応用：市原 侃、木崎節子、松浦信夫*、藤枝憲二、成瀬 浩**、鈴木恵美子**、辻 章夫***、前田昌子***、荒川秀俊*** (*北大医学部小児科、**国立精神・神経センター、***昭和大学)

第23回日本ウイルス学会北海道支部総会、昭和62年10月、札幌、十勝地方における人インフルエンザの流行と豚のA型ウイルス抗体保有との関係：高井 学*、三輪尚克*後藤 仁*、野呂新一、桜田 教夫 (*帯広畜産大学微生物学教室)

第39回北海道公衆衛生学会、昭和62年10月、旭川、エイズの現状とその対策：桜田教夫

第39回北海道公衆衛生学会、昭和62年10月、旭川、包虫症の新しい免疫血清診断法、ウエスタン・プロティング法の開発：古屋宏二、新井純理、佐藤秀男、熊谷 満

第35回日本ウイルス学会、昭和62年11月、京都、眼疾患由来アデノウイルス分離株の分子疫学：郭 登賦*、柴田リリ*、品川森一*、青木功喜**、沢田春美、佐藤儀平*、松本一郎*** (*帯広畜産大学、**札幌市、***岩手医科大学)

第35回日本ウイルス学会、昭和62年11月、京都、結膜炎由来 Ad 34/35の交叉中和試験、DNA 切断像と血清疫学：沢田春美、青木功喜*、郭 登賦**、品川森一**、吉井孝夫***、山崎修道***(*札幌市、**帯広畜産大学、***国立予防衛生研究所)

日本実験動物技術者協会北海道支部第31回研究会、昭和63年2月、札幌、新動物実験施設始動後の情況：清水美一、佐々木光浩

日本実験動物技術者協会北海道支部第31回研究会、昭和63年2月、札幌、当施設におけるヌードマウス繁殖の試み：川瀬史郎、清水美一

日本実験動物技術者協会北海道支部第31回研究会、昭和63年2月、札幌、斜頸ウサギからの *Pasteurella* 菌同定と分離菌株を抗原として用いた血清学的検査：佐々木光浩、亀山邦男

日本実験動物技術者協会北海道支部第31回研究会, 昭和63年2月, 札幌, コトンラットのエストラジオール感受性: 川瀬史郎, 佐々木光浩

食 品 科 学 部

日本農芸化学会, 昭和62年度大会, 昭和62年4月, 東京, 拮抗微生物によるアズキ立枯病抑制について: 長谷川伸作, 金島弘恭, 児玉不二雄*, 赤井 純* (*北海道立中央農試)

第41回日本栄養食糧学会総会, 昭和62年5月, 東京, 北海道民の健康と食生活に関する研究: 本間 寛, 武田秀敏, 松田和子, 原 美智子* (*天使女子短大)

日本放線菌学会昭和62年度大会, 昭和62年6月, 東京, アズキ立枯病の微生物防除——放線菌の利用——: 長谷川伸作, 児玉不二雄* (*北海道立中央農試)

第35回北海道感染症研究会, 昭和62年6月, 札幌, *Microellomonospora flavea* Y-1 の產生するポリエンマクロライド抗生物質について: 長谷川伸作, 熊谷 満

1st International Conference of the Hospital Infection Society, August-September, 1987, London, Selective Medium for Isolation of *Acinetobacter calcoaceticus* from Clinical Specimens: Shinsaku Hasegawa, Mituru Kumagai

第34回日本栄養改善学会, 昭和62年9月, 札幌, 北海道の郷土料理の嗜好性と栄養成分の検討: 山口 敦子*, 山本愛子*, 山本勇夫, 松田和子 (*天使女子短大)

第34回日本栄養改善学会, 昭和62年9月, 札幌, エゾヨモギの栄養成分とその利用: 山本愛子*, 民志和子**, 松田和子 (*天使女子短大, **静修女子短大)

第39回北海道公衆衛生学会, 昭和62年10月, 旭川, キャピラリー GC-MS を用いた *Pseudomonas* 菌株の脂肪酸組成の解析: 長谷川伸作, 桂 英二, 兼俊明夫, 小川 広

第39回北海道公衆衛生学会, 昭和62年10月, 旭川, 市販加工食品中の食用タール色素含有量調査: 堀 義宏, 佐藤正幸, 長南隆夫

日本分析化学会第36年会, 昭和62年10月, 熊本, 配位子置換反応を利用する細管等速電気泳動法による重金属イオンの分離定量: 平間祐志, 吉田仁志* (*北海道大学理学部)

第37回北海道栄養食糧学会、昭和62年11月、札幌、北海道トマトジュースの品質について：山本勇夫、佐藤千鶴子、松田和子、本間 寛

日本植物病理学会北海道部会昭和62年度シンポジウム、昭和62年11月、札幌、豆類病害とバクテリーゼーション：長谷川伸作、児玉不二雄* (*北海道立中央農試)

日本植物病理学会北海道部会昭和62年度研究発表会、昭和62年11月、札幌、テンサイ種子バクテリゼーションに関する研究（V）——拮抗性細菌の同定ならびにその生産する抗菌性物質と生育促進物質——：長浜 恵*、永井優子*、李王休*、長谷川伸作、小林喜六*、生越 明* (*北海道大学農学部)

第12回振動障害研究会、昭和63年1月、東京、過去10年間における振動障害特殊健康診断結果の検討：本間 寛

第3回日本環境感染学会、昭和63年2月、東京、キャピラリー GC-MS によるブドウ糖非発酵グラム陰性桿菌の脂肪酸組成の解析：長谷川伸作、桂 英二、兼俊明夫、小川 広

日本分析化学会北海道支部1988年冬季研究発表会、昭和63年2月、札幌、炭素炉原子吸光法による食品中アルミニウムの定量法：佐藤千鶴子

日本農薬学会、第13回大会、昭和63年3月、神戸、拮抗微生物によるアズキ立枯病抑制とその作用機作の解明：長谷川伸作、児玉不二雄* (*北海道立中央農試)

薬 学 部

日本薬学会第107年会、昭和62年4月、京都、家庭用品に使用されている化学物質に関する研究（第6報）イルガサンDP300およびその塩素化誘導体の日光照射時における拳動とイルガサン DP300含有繊維製品の燃焼試験：兼俊明夫、小川広、桂 英二、金島弘恭

日本薬学会第107年会、昭和62年4月、京都、ゲンチアナのキサントン配糖体：林 隆章、山岸 喬

第34回北海道薬学会、シンポジウム「薬剤師と漢方」、昭和62年7月、札幌、生薬の化学的品質評価：林 隆章

第34回北海道薬学会、昭和62年7月、札幌、北海道産黄柏の化学的品質評価：中野道晴、姉帯正樹、山岸 喬、金島弘恭、梶 勝次*、佐藤孝夫*、林 善三* (*北海道立林業試験場)

日米合同薬学会(JUC Pharm Sci '87), 昭和62年12月, ホノルル, ハワイ, Antitumor Agents 94, Cytotoxic Triterpenes From *Hyptis capitata*: Takashi Yamagishi, Jer-Jang Chang*, Kuo-Hsiung Lee** (*Division of Laboratory Animal Medicine, School of Medicine, University of North Carolina, **Natural Products Laboratory, Division of Medicinal Chemistry and Natural Products, School of Pharmacy, University of North Carolina)

第11回生薬の栽培と品質に関する研究会, 昭和63年3月, 札幌, 芍薬の化学的研究——調製加工方法と品質——: 山岸喬

生 活 科 学 部

日本農芸化学会, 昭和62年度大会, 昭和62年4月, 東京, Hiproly オオムギカルスの再分化におけるエチレンの生成について: 加藤芳伸, 長谷川忠男*, 鈴木隆雄*, 藤井太朗** (*東京農大, **国立遺伝学研究所)

日本分析化学会第36年会, 昭和62年10月, 熊本, キレート抽出系液膜イオンセンサーの応答に対する協同効果の寄与: 伊藤八十男, 菅原正雄*, 梅澤喜夫*, 赤岩英夫** (*北大理学部, **群馬大工学部)

Asia-Pacific Symposium on Environmental and Occupational Toxicology, 昭和62年10月, シンガポール, Placental Transfer and Tissue Distribution of ¹⁴C-Styrene —— A Radioautographic Study in Mice: 岸 玲子*, 片倉洋子*, 奥井登代, 小川 広, 池田聰子*, 三宅浩次* (*札幌医科大学)

環境科学シンポジウム1987, 昭和62年11月, 東京, 石狩川水系における各種水田除草剤の河川水, 底質および生物種における動態: 大山 徹, 神 和夫, 加藤芳伸, 千葉善昭, 井上勝弘

Third International Symposium on Natural and Industrial Arsenic, November, 1987, Kagoshima, Japan, Isolation and Identification of Arsenic-containing Ribofuranosides and Dimethylarsinic acid from Green Seaweed, *Codium fragile* (MIRU): K. Jin, T. Hayashi, Y. Shibata*, and M. Morita* (*National Institute for Environmental Studies)

日本分析化学会北海道支部1988年冬季研究発表会, 昭和63年2月, 札幌, キレート抽出系液膜イオンセンサーの応答に対する協同効果の寄与: 伊藤八十男, 富田恵一, 片岡正光*, 菅原正雄*, 梅澤喜夫*, 赤岩英夫** (*北大理学部, **群馬大工学部)

日本植物生理学会1988年度年会, 第28回シンポジウム, 昭和63年3月, 大阪, オオムギ培養細胞のスペルミン合成に及ぼすスペルミシンとジシクロヘキシリアミンの影響: 加藤芳伸, 長谷川忠男*, 鈴木隆雄* (*東京農大)